

『重点目標』

- ◆見守りネットワーク対応の充実
- ◆地域福祉に関心を高める活動

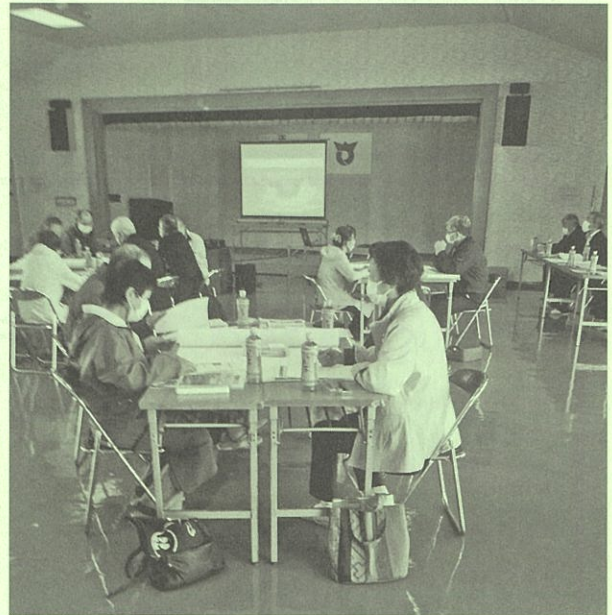
《編集・発行》

高松地区社会福祉協議会

福祉だより

第11号

たかまつ



災害に強いコミュニティづくり研修会

高松地区社会福祉協議会

会長 大沼 喜一

令和二年度の総会は新型コロナウイルス感染防止のため書面決議になりました。

さて、今年度の事業は、令和二年近隣町の河北・大江町の災害体験に基づく講話に続き、山形絆のネットワーク代表の早坂信一氏をコーディネーターとして災害時の対応の仕方や取組等の研修会を、地域福祉推進委員、民生委員・児童委員、各町会長の参加いただき、市社協の協力で開催しました。終了後のアンケートでは多くの貴重なご意見・感想をいただきました。その中から数点を紹介し、引き続き災害対応の研修会を継続してまいります。

また、ニュースポーツ等の研修を行い、地域への普及を目指してまいります。

〈研修会でのご意見・感想〉

- 情報の共有、防災意識の高揚が必要
- 地域の連携がよくできていて、避難誘導がうまくできる
- 区内の話し合い、隣組の話し合いが大切
- これから地域福祉の視点で災害対応を考えていく
- 寒河江市でも市と社協が協力し、訓練や講演会、講話会などを開催し具体的にすぐ動けるようにマニュアルの必要性
- 災害が身近になり、一回だけでなく、これからも学習会をしていただけたらと思います。

地域づくり標語事業

地域住民の一人一人が、人を思いやる心やいたわる心を培うことを内容とした標語を高松小学校四年生から六年生までの児童全員から募集いただき、最優秀・優秀作品8点を各公民館等に掲揚し、地域福祉活動を通じて多くの地区民に呼びかけることで、子どもから高齢者までが安心して暮らせる地域づくりに取り組めるように意識の啓発を図りました。



最優秀賞

たかまつっ子 毎朝のあいさつではじまる地いきの笑顔

四年 新宮 友唯真

優秀賞

参加しよう 地域のための ボランティア

六年 畑 智瑛

みんなの高松 みんなの目で 守る町

六年 加藤 千裕

手伝おう 地域のことや 家のこと

六年 菊地 心菜

だれにでも やさしい心 大切に

五年 伊藤 千隼

あいさつは 心をつなぐ 愛言葉

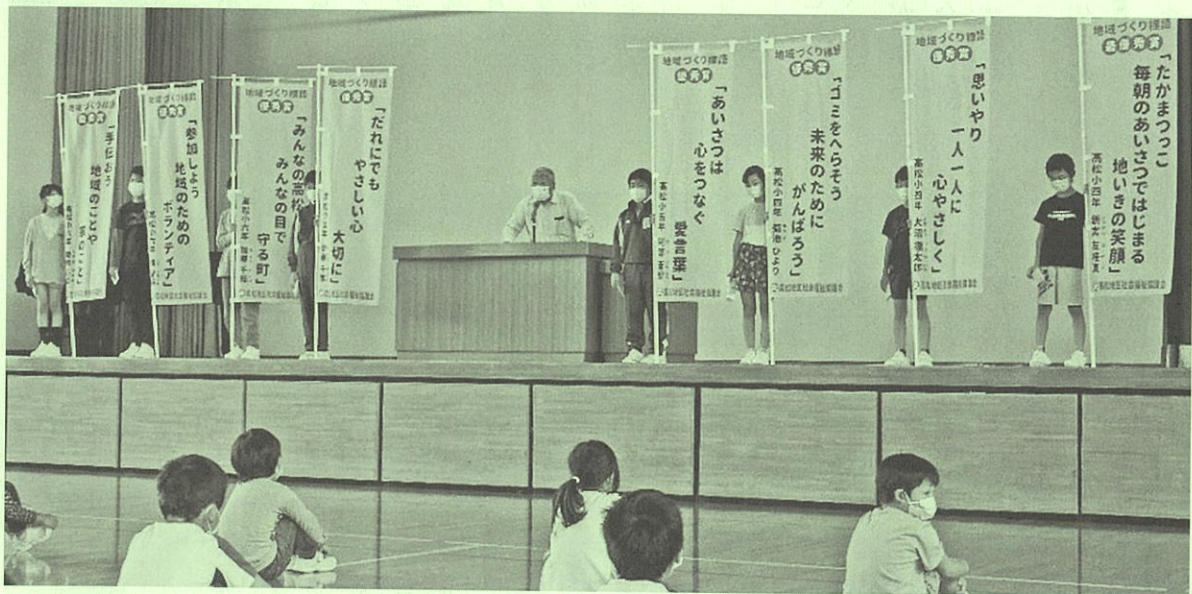
五年 阿部 創聖

思いやり 一人一人に 心やさしく

四年 大沼 凜太郎

ゴミをへらそう 未来のために がんばろう

四年 菊池 ひより



下八鞆町会「おしゃべりカフェ」

民生児童委員と福祉推進員二名と町会長の四人で、定期的に集まって地域福祉の情報交換会を行ってきた。その中で、一人暮らしの高齢者に集ってもらい楽しい会を開いてみようということになり、始まったのが、「おしゃべりカフェ」である。

十月二十八日、十時を待ちかねたように七名全員が公民館に集まっている。コロナのため飲食はなし。好評だったかるたも距離が近くなるのでやめた。プログラム一番は、紙芝居とエプロンシアターだ。時々笑顔になりながらじつと聞き入っている。次は、ワナゲ大会だ。やっていくうちに夢中になる。順位発表の後、優勝者から賞品を選ぶ。大きさは違いが同じ値段だ。「またしてけるな」と言っている。行かれる。

今回は高松地区社会福祉協議会のご協力をいただいて実施できた。



令和3年高松地区一人暮らしの集い

清助新田区「ふれあいの集い」

11月18日(木) 清助新田区集落センターにおいて、区役員と民生児童委員・地域福祉推進委員の7名による見守り対象者全員(9名)に対して「一人暮らしふれあいの集い」を実施しました。

コロナ感染症における感染予防に配慮し、高松地区社協から受けた地域福祉推進交付金等を活用して、全員参加でしりとり・ゲームや美しい日本の歌を観賞、また、県歌の最上川の成り立ちを研修後、お楽しみ昼食会で楽しいひと時を過ごしました。

参加者からは「久しぶりに友達と会話をした。」「ゲームで楽しいひと時を過ごさせてもらった。」と感謝される等地域の絆を感じさせる活動でした。



谷沢区「お食事会」

8月29日(日) 午前11時から、谷沢区、民生児童委員、地域福祉推進員の三者で構成する「地域福祉会議」が主催し、区内の一人家族のお年寄りを招いて、楽しいひと時を過ごしていただくとお食事会を開きました。

「どうぞ、お茶飲み話にござってけらっしゃい!」と呼びかけた会は今年で3回目になり、お年寄り4名と、主催者側7名の計11名が参加者しました。まず、心身をリラックスするために「輪投げ大会」で盛り上がった後、弁当と具だくさんの豆腐汁にスイーツまで付いた食事に舌鼓をうち、世間話などで会話も弾み和やかな集まりになりました。今後もみんなで支え合い助け合う地域づくりをめざして活動していきたいと思っております。



令和3年度
高松地区社会福祉協議会収支決算書
 令和3年4月1日～令和4年3月31日

収入合計 440,315 円
 支出合計 278,097 円
 差引残高 162,218 円
 (次年度へ繰越)

(収入内訳)

(単位：円)

項目	予算額	決算額	比較	摘要
繰越金	143,994	143,994	0	令和2年度より
交付金	196,000	194,000	△ 2,000	市社会福祉協議会より活動交付金
負担金	98,800	99,320	520	130円×764戸
雑収入	3,000	3,001	1	市社協・貯金利息
合計	441,794	440,315	△ 1,479	

(支出内訳)

(単位：円)

項目	予算額	決算額	比較	摘要
会議費	30,000	15,766	△ 14,234	監査会・三者会議他
事業費				
補助金	85,000	66,000	△ 19,000	各種団体補助費
ひとり暮らしのつどい等	318,000	190,251	△ 127,749	ひとり暮らしのつどい・標語のほり旗・福祉だより・研修費他
予備費	8,794	6,080	△ 2,714	事務費
合計	441,794	278,097	△ 163,697	

各町会見守りネットワーク

町会長、民生委員・児童委員、主任児童委員、地域福祉推進員名簿

町会名	町会長名	民生委員・児童委員	地域福祉推進員		
谷 沢	伊藤 厚司	鈴木 いち子	加藤 スミ子	奈良崎 あや子	長坂 則子
清助新田	大泉 一広	伊藤 克博	朝倉 芳朗	佐藤 恵美子	奈良崎 房子
高 松	横山 一郎	竹田 茂	鈴木 利和	菊池 佐津子	阿部 和子
米 沢	加藤 善雄	加藤 善雄	高橋 けい子	木村 洋子	
上八畷	大沼 栄司	國井 菊子	木村 喬	大沼 さとみ	
臥龍橋	佐藤 栄一		後藤 正廣		
下八畷	工藤 正年	大沼 喜一	小野 市男	大沼 美恵子	
鹿 島	小野 秀夫		菊池 敏彦	武田 利行	
主任児童委員(高松小学校区)		工藤 幸子			

あとがき

清助新田の伊藤秀一様におかれましては、高松地区社会福祉協議会会長を永年務められ、地域の発展に御尽力していただきました。心より感謝申し上げます。

「福祉だより たかまつ」第11号をお届けします。コロナ禍により高松地区・各区のイベント等の中止が続いていますが、地区社協は感染対策をとりながら、できるところから実施して来た一年となりました。早くみんなが明るい顔を合わせられるよう願うところです。